

13. ナカワ職業訓練校指導員一覧

Name	Status		Course Name Section	Sex	Age	O'Level	A'Level	Technical Certificate (Craftsman) (1)	Advanced Technical Certificate (Craftsman) (2)	Certificate by DIT (Trade Test)	Master Craftsman Certificate	Diploma	Higher Diploma	Degree	Master	Other (specify qualification)	Instructing experience (years)
	Full Time	Part Time															
Abasi Tuzinde	Full Time	Part Time	Administration	M	57	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	30
Kiwanuka Makumbi	Full Time	Part Time	Administration	M	51	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	28
Olowo Silver	Full Time	Part Time	Administration	M	56	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	28
Muwanga Godfrey	Full Time	Part Time	Administration	M	41	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	11
Onoo Francis	Full Time	Part Time	Electronics	M	34	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	8
Kagezi Harriet	Full Time	Part Time	Electronics	F	32	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	8
Rujumba Micheal	Full Time	Part Time	Electronics	M	31	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	8
Tumusiime Rose	Full Time	Part Time	Electronics	F	30	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	8
Edema Peter	Full Time	Part Time	Electronics	M	42	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	6
Apire William	Full Time	Part Time	Electronics	M	41	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	5
Oteka Albino	Full Time	Part Time	Electricity	M	55	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	27
Asiinwe Lydia	Full Time	Part Time	Electricity	F	31	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	6
Nakakande Hadija	Full Time	Part Time	Electricity	F	30	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	5
Okumu Silver	Full Time	Part Time	Electricity	M	50	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	5
Okello Martin	Full Time	Part Time	Electricity	M	30	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	4
Were Janet	Full Time	Part Time	Electricity	F	27	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	4
Semakula Abdu	Full Time	Part Time	Electricity	M	25	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	3
Kamba Ben	Full Time	Part Time	Electricity	M	34	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	2
Katongole Joseph	Full Time	Part Time	Machining	M	43	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	11
Bukirwa Harriet	Full Time	Part Time	Machining	F	37	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	11
Kyahurwa Patrick	Full Time	Part Time	Machining	M	31	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	8
Ahangana Barnu Robert	Full Time	Part Time	Machining	M	38	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	13
Wangolobe Fabian	Full Time	Part Time	Machining	M	59	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	32
Mugonbesya Patrick	Full Time	Part Time	Machining	M	48	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	9
Bulatu David	Full Time	Part Time	Machining	M	31	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	6

Name	Status		Course Name Section	Sex	Age	O'Level	A'Level	Technical Certificate (Craftsman) (1)	Advanced Technical Certificate (Craftsman) (2)	Certificate by DIT (Trade Test)	Master Craftsman Certificate	Diploma	Higher Diploma	Degree	Master	Other (specify qualification)	Instructing experience (years)
	Full Time	Part Time															
Mubiru David	Full Time	Part Time	Motor Vehicle	M	37	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	13
Asiinwe Patrick	Full Time	Part Time	Motor Vehicle	M	41	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	15
Madira Alex	Full Time	Part Time	Motor Vehicle	M	37	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	8
Seguya Joseph	Full Time	Part Time	Motor Vehicle	M	42	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	12
Musania James	Full Time	Part Time	Motor Vehicle	M	48	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	7
Ssemuko Abubaker	Full Time	Part Time	Motor Vehicle	M	34	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	2
Senyondo Mansoor	Full Time	Part Time	Woodworking	M	30	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	9
Bemanya Nathan	Full Time	Part Time	Woodworking	M	40	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	9
Waaiko Kajubi	Full Time	Part Time	Woodworking	M	37	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	9
Nyangya Peter	Full Time	Part Time	Woodworking	M	35	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	9
Nabwava Robert	Full Time	Part Time	Woodworking	M	37	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	9
Nyanzi Richard	Full Time	Part Time	Woodworking	M	28	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	4
Malabi Peter	Full Time	Part Time	Sheet Metal	M	35	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	9
Kazibwe Patrick	Full Time	Part Time	Sheet Metal	M	48	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	8
Oukonzi John	Full Time	Part Time	Sheet Metal	M	37	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	10
Kawesa Robert	Full Time	Part Time	Sheet Metal	M	32	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	5
Okello Jasper	Full Time	Part Time	Sheet Metal	M	36	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	7
Mayanja Fred	Full Time	Part Time	Welding	M	31	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	9
Eliachau David	Full Time	Part Time	Welding	M	30	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	8
Baita Joshua	Full Time	Part Time	Welding	M	48	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	6
Nasaza Jalia	Full Time	Part Time	Welding	F	27	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	2
Wanyama Ignatius	Full Time	Part Time	Welding	M	40	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	8
Ssemपाला Tele	Full Time	Part Time	Welding	M	49	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	28

14. 関連機関訪問記録

訪問記録 (UNIDO)

日時 : 平成 18 年 3 月 21 日 (火) 12:30~13:00

場所 : UNIDO (United Nation Industrial Development Organization)

参加者 : <相手側> Mr. Michael Lubowa, UNIDO National Consultant on Business Information
Solution for MSMEs

<日本側> 上田

記録

- UNIDO はマイクロインダストリーの分野での協力であって、教育分野は支援していないが、Food Processing を支援している関係上、小さなワークショップで実施したことがある。
- SIDA が Food Processing の分野で訓練の協力をしている。ドライフードを作ってスカンディナビア諸国に輸出している。
- USAID は政策的にウガンダ職業訓練分野を支援していない。
- DFID は Elgon Technical Institute で職員訓練をおこなっている。
- GTZ は Masaka Technical Institute で Machinery 分野で支援している。
- DANIDA は Rakai District の Community polytechnic を支援している。

ウガンダで必要とする技術として、以下の指摘があった。

- Electronics : 外国製品の修理ができないため、修理技術の習得が必要である。
- Computer : 現在不可欠な技術であり、徐々に育っている。
- Mechanics : 特に最近の車は IC が使われており、これに対する修理技術がないので、最新の自動車を修理できる技術習得が必要である。

以上

入手資料 : なし

訪問記録 (KUK)

日時 : 平成 18 年 3 月 24 日 (金) 9:00~11:00

場所 : KUK (Kyambogo University Kampala)

参加者 : <相手側> Mr. Moses N. Twesigye-omwe, Head of Dept, Civil and Building Eng.
Dr. Jerome B. Ssengoni, Head of Dept Mechanical & Production Eng

<日本側> 上田

機械学科の記録 (3月24日(金))

- 6 プログラムを 40 人の教員と 20 人の助手で教えている。
- ワークショップは機械、自動車、冷蔵庫、機械及び熱処理のラボがあるが、機械は 80 年前の古い機械が多く、その後 30 年前に一部更新され、5 年前に ADB によって贈与された機材が数個置いてある。それも一部中古品が納入されたとのこと。

- ・ 技術専門学校とは格段の差があるが、LTVI や NTVI に比べると整備度はかなり落ちる。実験室があるところは教育的である。
- ・ 教官の訓練は NVTI や他の大学でやっている。
- ・ 学生数は約 500 人、4 年生、20%は Diploma 卒、Diploma は夜間のみ、一般は昼夜コースあり。昨年の卒業生は全員就職している。卒業生は出たばかり。
- ・ 今後吸収していききたい技術は 1. Motor Vehicle, 2. Nuemencetical Machine, 3. Sheet Metal, 4 Foundry, 5 Material testing, 6 Hydraulic Neumatic system に加えて General な分野として Entrepreneurship である。
- ・ Semester は Aug-December 17Weeks, January-June 17weeks July は夏休み、15weeks は授業、2weeks は試験。8:00-17:00、18:00-21:00
- ・ 実習時間は Diploma と Degree で異なる、Diploma は全体の 2/3 が実習、Degree は 1/3 が実習となっている。

電気・電子学科の記録(3月29日、30日)

- ・ 大学の一般課程は古くからあったが、工学部は 2000 年に以前の Polytechnic を吸収してできたもので、卒業生も今年が 2 回目である。(工学部は土木課、機械科、電気・電子科の 3 つだけ)
- ・ 同課も生徒数は約 500 人、Telecommunication は Higher degree と degree, Electricity は Diploma, Electronics Eng は Higher diploma と Ordinary diploma がある。Master は他の大学でとる。
- ・ 指導員は通信学科が教官 2 名、指導員 4 名、電気学科が教官 1 名、指導員 3 人で担当している。問題は指導員自身がどのように指導するのか、機材の修理方法も知らないことであるとの発言があった。
- ・ 実習研修はグループ毎に分けて実施している、1 グループの人数は 60 人であるが、コンピューターは現在 10 台しかなく、少なくとも 40 台は必要であり、予算申請しているが、未だ手当てができていない。
- ・ 電気ラボには、発電所のコントロールパネルが置いてあるが、運転管理の技術習得はできるような機材ではない (1950 年に ADB からの贈与機材)。
- ・ 修理用ワークショップにはテレビが何十台も実習用に解体されて、置いてあるがシミュレーターなどの計測機器がないため、どこが故障しているのか分からない状態とのこと。

以上

入手資料：なし

訪問記録 (UMA)

日時 : 平成 18 年 3 月 30 日 (木) 9:00~10:00

場所 : UMA (Uganda Manufacturers Association)

参加者 : <相手側> Mr. Okecho Joseph Obunga, Director Membership Unit

<日本側> 上田

- ・ 協会の主な仕事は①税金問題の調整、②雇用問題、③協会メンバー間の情報交換である。
- ・ 会員数は約 30 社で、大手企業はセメント会社 (Human Cement)、鉄鋼、ガス会社などである。

製造業だけでなく、販売会社、保険、金融会社もメンバーになっている。製造業の数が全体の6割を占める。

- ・ 会員費は企業の規模によって異なっているが、小企業は年間、150,000 U.shs、500,000 U.shs、1,250,000 U.shs、大企業は2,500,000 U.shs、5,000,000 U.shsとなっている。
- ・ 毎年、10月の独立記念日には1週間各企業の展示会を開催している。
- ・ 職業訓練に求められる技能としては、レンガ工など現地建設工事関係の従事者である。これらの就職先としては“Eastern Builders”、“Excel Construction”などである。
- ・ その他の大手企業としては、自動車でベンツを扱っている“Spear”、電力・送電会社で“MMEME”、“UETCL”があり、電気から土木関係の技術者を幅広く雇用している。
- ・ チャンボゴ大学の卒業生は評判がいい。
- ・ ウガンダのポテンシャルとしては、スーダンが戦争後の復活に向けて動いているので、そこへの売り込みが見込めること（職業訓練校がない）、コンゴやブルンディにも市場を開拓できるメリットがある。

以上

入手資料：なし

訪問記録 (PSFU)

日時：平成18年3月31日（木）13:00～13:45

場所：PSFU (Private Sector Foundation Uganda)

参加者：＜相手側＞Ms. Ida Wanendeya, Vice Chairman

Mr. Robert kyukyu, Scheme Manager

＜日本側＞上田

- ・ PSFUは現在71の業界団体を取りまとめるトップ機関である（PSFUは日本の経団連のイメージ）。1995年に設立された当初は民間セクターのビジネス開発機関であったが、2002年に世銀の民間競争力向上プロジェクトの支援を受けて現在に至っている。教育省を初め政府機関とも情報交換を行い、適宜アドバイスを行っている。
- ・ ウガンダはランドロックドカントリーであることや熟練工が不足しているため、外資誘致が思うように進んでいないが、PSFUとしては自動車ノックダウン工場、太陽光発電、電子関係工場（TV工場は5年前に閉鎖）、繊維関係を誘致したいと考えている。
- ・ 政策的にはオープンポリシーである。
- ・ 農業部門の従事者が80%であることから、この部門の付加価値を上げることが望ましいため、この分野の職業訓練校をメインに育成すべきである。
- ・ 職業訓練校はドロップアウトした生徒が行くというイメージがあるが、改善すべきである。
- ・ トラクターなどの農業関連機材もあるが、60-70%は中古品の輸入であり、新しいブランドの組み立て方や使い方、修理方法を導入する必要がある。
- ・ 輸出有望品目としては切花、中間製品ではあるが皮革、綿花からのTシャツなどがあるが、有機物の乾燥品の輸出も拡大できる可能性がある。
- ・ 太陽光発電機材は需要をサポートする観点からも必要であり、その分野の投資に期待している。

以上

入手資料：リーフレット

訪問記録 (UNEB)

日時：平成 18 年 4 月 4 日 (火) 9:30～10:30

場所：UNEB (Uganda National Examinations Board)

参加者：＜相手側＞Mr. Dan Nokrach Odongo, Deputy Secretary & Head, Secondary School Examinations Department

＜日本側＞上田

” Overview of Technical and Vocational Qualification Structure (2 April 2006)” を先方に提示して、資格確認を行った結果、先方の発言は以下の通りである。

- ・ この表は概ねあっているが、CTTE から DTTE へ昇級するケースはあるが DTTE2 年のコースはない。(ただし、このあとチャンボコ大学で確認したが DTTE2 年コースは存在しているとのこと)
- ・ DVTI、CVTI、UNEB Certificate III は聞いたことがない。今日初めての情報である。
- ・ CTTE 資格保有者は UJTC 及び Certificate I を教えることができる。
- ・ DTTE 資格保有者は Certificate II を教えることができる。
- ・ Vocational Qualification はここにあるだけでなく、他にも、Tailoring, Garment, Leather skin making, Electricity Installation などがある。

以上

入手資料：なし

訪問記録 (DIT)

日時：平成 18 年 4 月 4 日 (火) 11:00～12:00

場所：DIT (Directorate of Industrial Training)

参加者：＜相手側＞Mr. Mukasa Kiyaya, Ag. Commissioner DIT

＜日本側＞上田

- ・ DIT では職業訓練分野の指導員資格の認定を行うように政府に働きかけているが残念ながら予算不足のため、実施されていない。
 - ・ UNEB は理論であって、技術の試験を行わない。
 - ・ DIT の資格付与のアイデアは次の 3 段階である。現在、Phase 1 のみ実施しているが、Phase 2 & 3 は上記理由で進んでいない。
- ① Phase 1：どこかの職業訓練校において、1 ヶ月単位のショートプログラムに合計 6 ヶ月参加した人に Grade 1 の指導員資格 (ただし、Attendance Certificate) を発行する。
 - ② Phase 2: Grade 1 取得後また、ショートプログラムを 6 ヶ月終了した人に指導員資格 Grade 2 (ただし、Attendance Certificate) を発行する。

- ③ Phase 3 : Grade 2 取得後また、ショートプログラムを6ヶ月終了した人に今度は最終試験 (Candidate Final Examination)を行って指導員資格 Grade 3 (Instructor Certificate) を発行する。

以上

入手資料：なし

訪問記録 (TTE)

日時 : 平成18年4月4日 (火) 14:00~15:30

場所 : TTE (Technical Teacher Education, Kyambogo Univ.)

参加者 : <相手側> Mr. Mutumba George, Head of Technical Teacher Education

<日本側> 上田

- S6 入学者が指導員資格を得るには、BTTE を取得することで、1年目は理論中心に勉強、2年目から Professional 及び Engineering について4年まで習得すること。
- DTTE は Craftsman 2, Ordinary Diploma or Higher Diploma 取得者が4 Semester 2年間勉強し、試験に合格すれば取れる。
- CTTE は Craftsman 2, Ordinary Diploma or Higher Diploma 取得者が2 Semester 1年間勉強し、試験に合格すれば取れる。
- 3年目と4年目にそれぞれ別の職業学校で6週間づつの実習を受けることが義務付けられている。
- この資格保有者 (チャンボゴ大学卒業生) は特殊教育機関、職業学校、中学校などの指導員として働いている。
- BTTE 資格保有者は UTC レベルでの指導員となれ、DTTE は Technical Institutes レベルの指導員となれる。

4月4日 (水) 椎谷団員と再度訪問し以下の情報を入力

- 指導員養成コースでは過去30年間に約1500人の卒業生を出している。
- CTTE は1972年から存在、DTTE は1999年から開始された。
- CTTE の卒業生は毎年約40人、1999年から2001年まではCTTE とDTTE はそれぞれ50人づつ。
- 2001年から今日まで、CTTE は Lugogo と Abilonino (北部) 協力機関でも取得できるようになり、取得者は年平均70人、DTTE は平均40人となっている。
- 実務研修は卒業まで、12週間、年間6週間ずつ受けるようになっている。実習生は、取得しようとする資格の実習ができる訓練校を選択して、これまで20箇所の職業訓練で実施した。
- DTTE はその他に3ヶ月間の企業研修が義務付けられている。
- 現在入学生の90%はS6であるが、教育省の指導で最近は大人でも入学できるようにオープンにしている。
- 協議後、ワークショップ視察。

以上

入手資料：カリキュラムガイダンス他

15. 職業訓練校訪問記録

Lugogo Vocational Training Institute

(1) 学校のレベル：

種類	公立	私立	職業訓練校(前期)	職業訓練校(後期)	技術短大	大学
レベル	✓			✓		

(2) コースと生徒数・入学資格

各コース別生徒数は次の通りである。

No.	コース	生徒数			期間	入学資格
		昼間	夜間	合計		
	Craftsman Courses (CC)	357	262	619	2年間	S4 卒業生
1	Motor Vehicle Mechanics	53	56	109		
2	Block laying & Concreting	38	17	55		
3	Carpentry & Joinery	17	5	22		
4	Electricity Installation	50	50	100		
5	Plumbing & Pipe Fitting	55	55	110		
6	Fitting & Machining	33		33		
7	Painting & Decorating	36	14	50		
8	Welding & Fabrication	25	12	37		
9	Electronics	36	27	63		
10	Auto-Electric	14	24	38		
	Advanced Craftsman Courses (ACC)		93	93	1年間	CC 卒業生及び同等の学歴
1	Motor Vehicle Mechanics		19	19		
2	Block laying & Concreting		11	11		
3	Carpentry & Joinery		14	14		
4	Electricity Installation		21	21		
5	Plumbing & Pipe Fitting		21	21		
6	Fitting & Machining		7	7		
7	Painting & Decorating		2	2		
	合計	357	355	712		

(注) O-level (S4) の入学者が全体の 6 割を占める。女子の人数は僅か 22 人である。正規コースの他に企業などの依頼により、特別研修も実施している。

① カリキュラム

訓練は 2 学期制となっており、1 学期：7 月－3 月、2 学期：5 月－7 月、週 5 日制。

授業時間：昼間コース：8:30－10:30、11:00-13:30、14:00－16:30、夜間コース：17:30-19:30

理論と実習の割合は 15%が理論、85%が実習訓練とのことである。

②教材、指導要領等

訪問時は休暇中であり、生徒はいなかったが、教材は予算の都合で殆どないとのことである。

(3) 指導員数と資格

指導員の資格は次の通りである。

	資格	人数
1	Technical Certificate (Craftsman 1)	
2	Advanced Technical Certificate (Craftsman 2)	5
3	Certificate by DIT (Trade Test)	27
4	Master Craftsman Certificate	1
5	Diploma	9
6	Higher Diploma	2
7	Degree	1
8	Master	
	合計	45

(注) 人数は正規職員(20人)とルゴゴ VTI が独自に雇用しているパートタイム職員(25人)の合計。

職員の数にはパートタイムを含めると、これでやっていけるので、新規雇用は考えていない。

指導員の向上訓練は技術が日進月歩変化しているので、機会があればいつでもやって行きたい。ナカワ VTI で実施した第3国研修にも参加させた。研修は短い期間でやってほしい、1年も長期になれば、参加させる人数が限定されてくるが、第3国研修の程度なら、数人参加させたい。

(4) 施設・機材

施設：施設の周辺は企業や工場が立地されていることもあり、ナカワ VTI とは施設配置が大きく異なる。ナカワは広いキャンパスに教室ワークショップが計画的に配置されているのに対して、ルゴゴは限られたスペースの中に、施設を精一杯建設した感じで、むしろ施設的には狭すぎる感じを受ける。建屋は8棟で、事務所は正面建物内の1階にあり、事務所スペースの両隣と2階は教室と電気・電子及びコンピューターのワークショップになっている。ちょうど日本の中堅の町工場のイメージである。敷地が狭いこともあり、宿泊設備は持っていないがキャンティーンや図書館なども小さいが付帯している。

機材：1990年から2000年までGTZが支援していたこともあり、実習用機材はチャンボゴ大学の工学部以上に整備されている。大型の旋盤から始まり、機械加工機も数台設置されている。しかし、ナカワと比較すると、実習用自動車エンジンの数やコンピューターの数も少ないことから見劣りするといわざるを得ない。

(5) その他

- ① 入学時の競争率は受け入れ可能人員数からすると、まだ、若干余裕があるため、それほど厳しいものではないと思われる。
- ② 卒業生の就職状況については具体的数値の提示はなかったが、ナカワとほぼ同様と思われる。
- ③ 予算：不明

Vocational Training School Bbira

(1)学校のレベル：

種類	公立	私立	職業訓練校(前期)	職業訓練校(後期)	技術短大	大学
レベル		✓	✓	✓		

(2)コースと生徒数・入学資格

各コース別生徒数は次の通りである。

No.	コース	生徒数	期間	入学資格
1	Carpentry & Joinery	29	3年間	P7-S6 卒業生 及びドロップ アウト
2	Electricity Installation	20		
3	Brick Ray & Concrete Practice	40		
4	Tailoring & Garment Cutting	17		
	合計	103		

(注) S1-S6の中にはドロップアウトした生徒もいる。また、技術学校や職業訓練センター修了者も何人かいる。これらの生徒はグループを別にして、教えている。

① カリキュラム

訓練は1学期：7月－9月、2学期：10月－2月、3学期：3月－6月の3学期制。週5日制。

入学試験は毎年6月実施している。

理論と実習の割合は25%が理論、75%が実習訓練である。

② 教材、指導要領等

訪問時は休み時間で授業風景を見ることができなかったが生徒はノートの他に教材のようなものを持っていないため、他の学校と同様、教材はないものと思われる。

(3)指導員数と資格

指導員の資格は次の通りである。

	資格	人数
1	Technical Certificate (Craftsman 1)	3
2	Advanced Technical Certificate (Craftsman 2)	
3	Certificate by DIT (Trade Test)	1
4	Master Craftsman Certificate	2
5	Diploma	2
6	Higher Diploma	
7	Degree	
8	Master	
	合計	8

現在の指導員数では十分な学習ができないので、あと4名は増員したいと考えている。

指導員の向上訓練等は殆ど行われていないが、UGAPRIVIのメンバーであるため、短期研修に参加

した実績はある。指導員の採用として実務経験 3 年以上ある人を採用している。しかし、ナカワ VTI で研修の機会が得られれば、3 名ぐらいは派遣したい（対象は大工、レンガ、縫製コースの指導員各 1 名の希望）。

(4) 施設・機材

施設：キャンパスは広く、十分な広さである。4 棟の教室とワークショップからなっている。交通事情が良くないため、宿泊施設も付帯している。施設の維持状況は公立学校よりも、良い。立地条件は幹線道路から外れているため、道路が舗装されておらず、アクセス事情は良くない。

機材：実習用機材は殆どない状況であるが、主な機材としては、縫製コースの足踏みのミシンが 8 台、電気設備コースの修理工具程度である。

(5) その他

- ① 卒業生の就職状況：卒業生の多くは仕事についていると思われる。
- ② 予算：2005/06 年度 200 百万 U shs.
- ③ 校長は現在の生徒数を増やして、200 人規模にしたい意向である。

Cowa Centenary Vocational School NSAMBYA

(1) 学校のレベル：

種類	公立	私立	職業訓練校(前期)	職業訓練校(後期)	技術短大	大学
レベル		✓	✓			

(2) コースと生徒数・入学資格

各コース別生徒数は次の通りである。

No.	コース	生徒数	期間	入学資格
1	Tailoring	48	2 年間	P7-S4 卒業生 及びドロップ アウト
2	Catering & Hospitality	46		
3	Information Technology (IT)	39		
	合計	133		

(注) P7 にはドロップアウトした生徒も 12 名いる。また、S1-S4 までのドロップアウトもいるが、S6 卒業生も 1 名いる。

① カリキュラム

訓練は 1 学期：7 月－9 月、2 学期：10 月－2 月、3 学期：3 月－6 月の 3 学期制。週 5 日制。

理論と実習の割合は一年目は基本知識の習得が中心、2 年目から実習中心となるが、25%が理論、75%が実習訓練の現状である。

② 教材、指導要領等

授業を視察したが、教材は使っていない。視察時の状況では実習に参加している生徒が殆どで、実習時間に重点が置かれていることが伺えた。

(3) 指導員数と資格

指導員の資格は次の通りである。

	資格	人数
1	Technical Certificate (Craftsman 1)	3
2	Advanced Technical Certificate (Craftsman 2)	
3	Certificate by DIT (Trade Test)	1
4	Master Craftsman Certificate	2
5	Diploma	3
6	Higher Diploma	
7	Degree	
8	Master	
	合計	9

現在の指導員一人で 25 名を担当しているが、現在の数では十分な学習ができないので、あと 2 名 (Tailoring 1+ Catering :1) は増員したいと考えている。

指導員の向上訓練等は殆ど行われていない。UGAPRIVI のメンバーであるがコンピューターの指導員が参加した程度で、他の指導員は参加していない。

(4) 施設・機材

施設：キャンパスは広いとはいえないが、支障ない状況である。施設は事務等をいれて 3 棟の教室とワークショップからなっているが、施設の大きさに対して生徒の数が多い印象を受けた。教室は 2 室しかなく、4 室に増設したい意向である。また、施設は一部修復を要するところもあるが、予算的にまだ着手できないとのことである。しかし、公立校の施設より維持管理が行き届いている。宿舎施設はないため、通学圏内の学生が対象である。

機材：実習用機材は学校のレベルにしては十分ではないとしても、ある程度そろっている印象を受けた。主な機材としては、縫製コースの足踏みのミシンが 10 台 (2001 年にスペインの援助)、料理コースの細かな什器類、IT コースのコンピューター 6 台 (2005 年に NORAD の援助で 10 台導入、そのうち 4 台は管理部門で日常管理に使用している) である。コンピューター知識習得は企業から求められており、需要も高いことからもっと増やしたいとのことで、日本援助の可能性を打診された。

(5) その他

- ① 卒業生の就職状況：卒業生の多くは仕事についていると思われる。
- ② 予算：： 2005/06 年度 250 百万 U shs。
- ③ 刺繍や縫製によってできた飾り物や衣類・洋服を売って、予算補助に当てている。

Nile Vocational Institute, NJERU

(1) 学校のレベル：

種類	公立	私立	職業訓練校(前期)	職業訓練校(後期)	技術短大	大学
レベル		✓	✓	✓		

(2)コースと生徒数・入学資格

各コース別生徒数は次の通りである。

No.	コース	生徒数	期間	入学資格
	Building Department		3年間	S4 卒業生
1	Block laying and Concrete Practice	85		
2	Carpentry and Joinery	22		
3	Electrical Installation and Electronics	109		
4	Plumbing and Sheet Metal Works	49		
	Domestic Technology		2年間	S4 卒業生と 25歳までの 希望者
1	Business Studies	132		
2	Catering and Hotel Management	161		
3	Nursery Teaching	69		
4	Textile Arts and Design	79		
	合計	703		

(注) 上記数は昼間・夜間コースの総数、夜間コースの比率は全体の約3割。多くはS4であるがP7も264名と多い。S6は13名。

① カリキュラム

この学校の特色は、父親のいない生徒を無料で訓練していることである(対象はP7-S2, 15-18歳で、職業意欲の高い生徒)。

理論と実習の割合は平均すると70%が理論、30%が実習訓練とのことであった。入手した2006年計画によれば、企業での実務研修も行われており、平均2ヶ月、クラフトマンコースでは3ヶ月外部研修となっている。

② 教材、指導要領等

教室での授業を見る限り、教材は見当たらず、教員が黒板に書き、生徒は講義をノートに取る現状である。

(3) 指導員数と資格

指導員の資格は次の通りである。

	資格	人数
1	Technical Certificate (Craftsman 1)	
2	Advanced Technical Certificate (Craftsman 2)	12
3	Certificate by DIT (Trade Test)	
4	Master Craftsman Certificate	2
5	Diploma	24
6	Higher Diploma	
7	Degree	2
8	Master	
	合計	40

(注) 上記は正規職員で、その他に14名のパートタイムスタッフがいる。

指導員の向上訓練等は UGAPRIVI を通じて時々であるが実施している。同校からは1名、ナカワ VTI で実施した第3国研修に参加している。校長からはもっと参加させたかったが、枠が狭すぎたとの指摘があった。また、長期の派遣はできないが、できたら短期間で何回も受け入れてくれるやり方にしてもらったらナカワ VTI に是非派遣したいとのこと。同行したナカワ VTI の訓練担当の Mr.Olowo に確認したところ、4名の申し込みがあったが、バックランドが一般教養課程の Diploma 取得者で実務経験がないので、除外したとのことであった。

(4) 施設・機材

施設：キャンパスは広く、周辺環境もよい。建物は古いが改修されており、一部2階建ての建物もある。公立校よりも維持管理が行き届いている。現在の施設は KfW の資金で当初建設されが、その後ポーランドやスイスの支援によりいくつか増設されたとのこと。教室も十分あるように思われたが、スポンサーがつけば自動車などの実習コースを増設したいとのことである。宿泊施設もあり、生徒の殆どが利用している。

機材：旋盤などの機械加工機はないが、板金用の切断機、溶接機や一般的な修理道具はそろっており、基礎的な修理技術は習得できると思われる。

(5) その他

- ① 卒業生の就職状況：不明。
- ② 本年度（2005-06）予算：約 843 百万 U. shs、昨年度予算は 702 百万 U. shs。公立の技術短大の倍の規模であるが、これでも運営に厳しく、教材などの予算を削減せざる得ない状況とのことであった。
- ③ 校長の発言として、この国では小学校をドロップする子供も多く、中学まで行かない子供も多い。教育部門としては上部の教育機関より、下部の教育機関の育成が課題であるとのことであった。

Jinja Vocational Training Institute

(1) 学校のレベル：

種類	公立	私立	職業訓練校(前期)	職業訓練校(後期)	技術短大	大学
レベル	✓			✓		

(2) コースと生徒数・入学資格

各コース別生徒数は次の通りである。

No.	コース	生徒数			期間	入学資格
		昼間	夜間	合計		
	Craftsman Courses (CC)				2年間	S4 卒業生
1	Electricity Installation & Fitting					
2	Motor Vehicle Mechanics					
3	Welding & Fabrication					
4	Metal Machining & Fitting					

5	Brick/Block laying & Concrete pract				1年間	CC 卒業生 及び同等 の学歴
6	Plumbing & Pipe Fitting					
7	Carpentry & Joinery					
	Advanced Craftsman Courses (ACC)					
1	Electricity Installation & Fitting					
2	Motor Vehicle Mechanics					
3	Welding & Fabrication					
4	Metal Machining & Fitting					
5	Brick/Block laying & Concrete pract					
6	Plumbing & Pipe Fitting					
7	Carpentry & Joinery					
	合計	252	37	289		

(注) O-level (S4) の入学者が 9 割で、残りは技術学校からの生徒である。正規コースの他に企業などの依頼により、特別研修も実施しており、現在 49 名いる。

① カリキュラム

訓練は 2 学期制となっており、1 学期：7 月－3 月、2 学期：5 月－7 月、週 5 日制。

授業時間：昼間コース：8:30－10:30、11:00-13:30、14:00－16:30、夜間コース：17:00-19:00

理論と実習の割合は 15%が理論、85%が実習訓練とのことである。

② 教材、指導要領等

訪問時はちょうど休み時間であったが、生徒は教材らしきものを持っていないことから、黒板による講義と実習による指導と思われる。

(3) 指導員数と資格

指導員の資格は次の通りである。

	資格	人数
1	Technical Certificate (Craftsman 1)	
2	Advanced Technical Certificate (Craftsman 2)	
3	Certificate by DIT (Trade Test)	12
4	Master Craftsman Certificate	1
5	Diploma	6
6	Higher Diploma	2
7	Degree	1
8	Master	
	合計	22

(注) 人数は正規職員(12 人)とジンジャ VTI が独自に雇用しているパートタイム職員 (8 人) の合計。

職員の数はパートタイムを含めると、これでやっていけるので、新規雇用は考えていない。指導員の向上訓練は機会があればいつでもやって行きたい。ナカワ VTI で実施した第3国研修にも3名（電気2名、自動車1名）が参加したが、有意義であった。同様の研修であれば、電気関係で PLC System & Refrigeration、自動車関係で EFI System、Rheumatic Transmission などのコースにそれぞれ2-3名参加させたい。

（4）施設・機材

施設：現在の施設は1982年にIDAの支援で建設されたものである。3つの後期職業訓練校の中で、最も施設及び機材共に見劣りする。このため今年ADBの資金援助が決まったものと思われる（ADBの支援内容は下記に示すとおり）。ワークショップは施設の入り口からコの字に建っており入り口近くは事務所と教室となっており、建屋の多くはワークショップとして使用されている。敷地も広く現在、宿舍も3棟あるが、更に、2棟増設する計画である。

機材：設置されている機械加工機はかなり古い、動いており、Sheet Metal用カッティング機とベンディング機材（各1台）はナカワ VTI からもらったものが置いてあり（ナカワとは非常にいい関係を保っているとのこと）実習に使用されている。ナカワやルゴゴと比較にならないが、自動車のエンジンもオートマチックエンジンやディーゼルエンジンはなかったが他に訪問した技術短大や技術専門高に比較すると機材は整備されていることから、むしろ、この国ではナカワ（JICA支援）とルゴゴ（GTZ支援）が格別な存在とした方が現状理解し易いとの感想を持った。

（5）AfDBの支援内容

2006年3月より5年間の予定でAfDBの支援を受けることになっている。このプロジェクトは本来なら1月より開始されることになっているが、調達手続きなどで遅れているものと思われる。6月ぐらいには開始されることを期待している。

支援内容は次の2つのパッケージからなっている（いずれもグラントベース）。

① 建物拡充と機材の更新

- ・ General purpose workshop : 1箇所新設
- ・ Building and carpentry workshop : 1箇所新設
- ・ Classroom block : 4教室の新設
- ・ Library and administration : 1箇所新設
- ・ Residential buildings : 2棟新設、2階建て、男女別200人収容

以上の新設に加えて、既存ワークショップ及び事務所などの改修工事が含まれている。また、機材調達については縫製、電気、コンピューターなどの機材を調達する予定である。

② 教官訓練プログラム：どのような協力が得られるのか未定。専門家が派遣されるのか、海外研修にJVTIのインストラクターを派遣するのか現在未定である。教育省が決めることになっている。

AfDBが職業訓練の分野で支援するのは、これが第1号である。これまで教育分野ではAfDB I:小学校教員訓練、AfDB II:小学校教員訓練、AfDB III:中学教員訓練及び厚生省の給水プロジェクトが実施された実績があると思われる。

(6) その他

予算:昨年度予算 400 百万 U shs、に対して、実績は 110 百万 U shs となっている。

Uganda Technical Institute, KANGA

(1) 学校のレベル :

種類	公立	私立	職業訓練校(前期)	職業訓練校(後期)	技術短大	大学
レベル	✓		✓			

(2) コースと生徒数・入学資格

各コース別生徒数は次の通りである。

No.	コース	生徒数	期間	入学資格
1	Electricity Installation	46	2年間	S4 卒業生
2	Plumbing	110		
3	Carpentry	34		
4	Brick laying	90		
5	Motor Vehicle	45		
6	Tailoring	30		
	合計	349		

① カリキュラム

教育訓練は 3 ヶ月毎の年 4 期のプログラムで実施している。

理論と実習の割合は 85%が理論、15%が実習訓練とのことであつたが、施設を見学したところ、実技訓練は殆ど行われていないと思われる。

② 教材、指導要領等

訪問時は休暇中であり、生徒はいなかったが、教材は予算の都合で殆どないとのことである。

(3) 指導員数と資格

指導員の資格は次の通りである。

	資格	人数
1	Technical Certificate (Craftsman 1)	
2	Advanced Technical Certificate (Craftsman 2)	20
3	Certificate by DIT (Trade Test)	
4	Master Craftsman Certificate	
5	Diploma	9
6	Higher Diploma	
7	Degree	
8	Master	
	合計	29

各コース5人体制で担当しているとのこと。

指導員の向上訓練等は予算がないので殆ど行われていない。面談者は、ナカワ VTI で実施した第3国研修に参加した教官であったが、第3国研修のように費用を負担してくれるのであれば、積極的に参加したいが、費用負担が伴うようであれば困難とのことであった。

(4)施設・機材

施設：キャンパスは広く、教室も十分あるが、建物は古く補修も殆どされていない（多くの窓ガラスは壊れたままになっている）。宿泊施設は付帯されており、殆どの生徒が宿泊しているとのこと。JINJA などからの生徒もいるが、ここでは交通手段に問題があることから、宿泊者が殆どとなる。

機材：実習用機材は自動車を除いては見当たらなかった。しかし、自動車のワークショップに置いてある車も40-50年位前のもので、埃がかぶっており、実技習得に使われている状況ではない。また、研修用エンジンもないことからエンジン補修などの実技も実施されていない現状である。

(5)その他

① 卒業生の就職状況について確認したが明確な回答はなかった。Elgon 技術短大の約3割程度より、更に低いものと思われる。

② 予算:不明

Uganda Technical College, ELGON

(1)学校のレベル：

種類	公立	私立	職業訓練校(前期)	職業訓練校(後期)	技術短大	大学
レベル	✓				✓	

(2)コースと生徒数・入学資格

各コース別生徒数は次の通りである。

No.	コース	生徒数	期間	入学資格
	Craftsman Courses (CC)	262	2年間	S4 卒業生
1	Motor vehicle	55		
2	Plumber	75		
3	Brick & Concrete	26		
4	Electricity Installation	44		
5	Fitting Machinery	60		
6	Carpenter & Joinery	2		上記 CC 卒業生
	Advanced Craftsman Courses (ACC)	31	1年間	
1	Motor vehicle	8		
2	Plumber	3		
3	Brick & Concrete	7		
4	Electricity Installation	13		

	Diploma Courses	308	2年	S6 卒業生
1	Mechanical	51		
2	Electricity	58		
3	Civil Engineering	122		
4	Water Eng.	67		
5	Air conditioning	12		
	合計	601		

① カリキュラム

前期（7月～12月）と後期（1月～6月）の2期制、7月は工場での実習訓練期間となっている。理論と実習の割合はグレードによってことなるが平均すると70%が理論、30%が実習訓練とのことであった。

② 教材、指導要領等

教室での授業を見る限り、教材は一切なく、教員が黒板に書き、生徒は講義をノートに取る現状である。

（3）指導員数と資格

指導員の資格は次の通りである。

	資格	人数
1	Technical Certificate (Craftsman 1)	
2	Advanced Technical Certificate (Craftsman 2)	10
3	Certificate by DIT (Trade Test)	
4	Master Craftsman Certificate	
5	Diploma	22
6	Higher Diploma	
7	Degree	2
8	Master	
	合計	34

指導員の向上訓練等は殆ど行われていないが、同校から2名、ナカワ VTI で実施した第3国研修に参加している。参加した教官には面談できなかったが、対応した校長は非常に有意義であったので、今後も同様の機会があれば参加させたいとの表明があった。吸収したい技術は Electronic (ICT), Electricity (Solar energy), Plumbing, Motor Vehicle を優先するとのことであった。

（4）施設・機材

施設：キャンパスは広く、教室も十分あるが、1931年に英国によって建設されたもので、全て平屋建てである。古いがその後何回か改修されていると思われるが、ところどころ窓ガラスが割れているのが目に付いた。宿泊施設もあり、生徒の多くが利用していることから、東部を中心として通学できない生徒が就学している。

機材：同校の特色としては最近設置したコンピューター12台によるICT教育を校長は強調していた（OPECにより、昨年贈与されたもの）。機械のワークショップには、古い機械加工関連の機材が10台程設置されている。中国製が殆どであるが一部日本製もあるとのこと。自動車のワークショップには数十年前の自動車が5台ほどあった。エンジンもかなり古いものを研修用に使用している。これではエンジンの基本的構造は理解できるものの、ここで研修を受けても、即社会で使える技術が習得できるとは思われないほど、現在のエンジンとはかけ離れたものである。また、その他の訓練用機材は見当たらなかった。

(5) その他

- ① 卒業生の就職状況は約3割程度とのことである。
- ③ 本年度(2005-06) 予算:約503百万 U. shs, 昨年度予算は468百万 U. shs, に対し、実績は396百万 U. shs, とかなり下回っている。

Vocational Training Center Masulita

(1) 学校のレベル：

種類	公立	私立	職業訓練校(前期)	職業訓練校(後期)	技術短大	大学
レベル	✓		✓			

(2) コースと生徒数・入学資格

各コース別生徒数は次の通りである。

No.	コース	生徒数	期間	入学資格
1	Carpentry & Joinery	28	3年間	P7とS4卒業生
2	Electricity Installation	48 (5)		
3	Brick Lay & Concrete Practice	42		
4	Welding & Metal Fabrication	38		
5	Tailoring & Garment Cutting	40 (37)		
6	Motor Vehicle Mechanics	80		
	合計	276(40)		

(注) 括弧内は女子の人数。

① カリキュラム

訓練は1学期：2月－4月、2学期：5月－8月、3学期：9月－12月の3学期制。

授業時間：8:30－10:30、11:00-13:30、14:00－16:00

理論と実習の割合は85%が理論、15%が実習訓練とのことであったが、施設を見学したところ、ごく基本的な実技訓練しか行われていない現状である。

② 教材、指導要領等

訪問時は休暇中であり、生徒はいなかったが、教材は予算の都合で殆どないとのことである。

(3) 指導員数と資格

指導員の資格は次の通りである。

	資格	人数
1	Technical Certificate (Craftsman 1)	9
2	Advanced Technical Certificate (Craftsman 2)	7
3	Certificate by DIT (Trade Test)	
4	Master Craftsman Certificate	
5	Diploma	2
6	Higher Diploma	
7	Degree	
8	Master	
	合計	18

各コース 3 人体制で担当が基本であるが、指導員の数が十分でないので、あと 4 名程増員したいと考えているが、予算も厳しくなかなか思うようにいかないとのこと。

指導員の向上訓練等は予算がないので殆ど行われていない。校長が元ナカワの訓練マネージャーであることもあり、ナカワ VTI で実施した第 3 国研修には 4 名参加した。そのうち 2 名はその後民間に移ってしまったが、それでも研修自身は有意義のものであったので、今後も機会があれば参加させたいとのことであった。

(4) 施設・機材

施設：舗装された幹線道路から、学校までの道路 (7km) が舗装がされていないため、アクセスはこの間よくない。キャンパスは広く、宿舎 (3 棟) も付帯している。教室は 20 人程度が入れる小さな平屋建てであるがワークショップとは別になっており、併せて 4 棟が独立して立地している。しかし、建物は古く補修も殆どされていない。今年は ADB の資金で新しく 2 棟新規建設が予定されている。生徒の殆どが宿舎には入っていない。

機材：実習用機材は殆どない状況であるが、自動車コースにはエンジンが一つ実習用においてある。縫製コースには足踏みの古いミシンが 8 台程度設置されている。また、金属加工のワークショップには金属をはさむジャッキが 5 台、溶接用の機材は 2 セット。

(5) その他

- ① 卒業生の就職状況卒業生の 90%は就職か自営で職業につく、残りの 10%は VTI か Technical Institute にいく。
- ② 予算:004-05 年度 71 百万 U shs 2005/06 年度 80 百万 U shs。親が貧しく金を払わない生徒もいるため厳しい現状とのことである。

Kampala Polytecnic, MENGO

(1) 学校のレベル：

種類	公立	私立	職業訓練校(前期)	職業訓練校(後期)	技術短大	大学
レベル		✓		✓		

(2) コースと生徒数・入学資格

各コース別生徒数は次の通りである。

No.	コース	生徒数	期間	入学資格
	Certificate Courses (CC)	94	2年間	S4 卒業生
1	Brick laying and Concrete Practice	11		
2	Electricity Installation	20		
3	Radio, TV and Electronics Technology	11		
4	Motor Vehicle Technology	30		
5	Plumbing	22		
	Ordinary Diploma Courses (ODC)	172	2年間	S6 卒業生と 上記 CC 卒業生
1	Building and Civil Engineering	58		
2	Architectural Drawing and Draftsmanship	29		
3	Electrical and Electronics Engineering	14		
4	Mechanical Production Engineering	71		
	Higher Diploma Courses	42	1年	上記 CDC 卒業生
1	Building and Civil Engineering	29		
2	Electrical and Electronics Engineering	13		
	合計	308		

(注) 生徒数は昼間と夜間の合計数 (昼間コース : 150 人、夜間コース : 158 人)

① カリキュラム

前期 (9 月～2 月) と後期 (3 月～7 月) の 2 期制、7 月は工場での実習訓練期間となっている。理論と実習の割合は 85% が理論、15% が実習訓練とのことであった。

② 教材、指導要領等

訪問時はちょうど新しい場所に、移転したばかりであり、現在、教室は事務管理事務所の隣に建設中であった。生徒は事務所内の一部を暫定的に教室として使用している部屋と外にイスを置いて勉強中であった。移転後間もないため授業はフルに稼動していない状況であった。一部の生徒に対して、教官が黒板を使って教えていたが、教材は持っておらず、生徒は説明をノートに取っている現状である。

(3) 指導員数と資格

指導員の資格は次の通りである。

	資格	人数
1	Technical Certificate (Craftsman 1)	
2	Advanced Technical Certificate (Craftsman 2)	5
3	Certificate by DIT (Trade Test)	
4	Master Craftsman Certificate	
5	Diploma	10
6	Higher Diploma	11
7	Degree	9

8	Master	1
	合計	36

指導員の向上訓練等は殆ど行われていないが、指導員によってはチャンボゴ大学での短期訓練に参加しケースもある。また、UGAPRIVI のメンバーであるので、同機関が実施した昨年の訓練に参加したケースもある。（同校から 1 名がナカワ VTI で実施した第 3 国研修に参加した実績があることが訪問後判明した）。

(4) 施設・機材

施設：学校は新たな場所に移転したばかりであり、教室はまだ完全に完成しておらず、生徒は野外での受講の状況であった。新しい場所も敷地面積も狭く（1,000-1,200m² 程度）、建設中の教室も小さく、20 人程度がやっと入れる程度の平屋の建物が 4 棟建設中で、ほぼ使用できるところまで来ている。150 人の生徒に対応できるのか、疑問視される。宿泊施設もないため、生徒は通学圏内に限定されている。

機材：同校は職業訓練校であるが、ワークショップを有しておらず、実習はチャンボゴ大学工学部及び St. Joseph Technical Institute のワークショップを使用しているとのことである。使用できる時期はそれらの学校が使用しない時期に限定されることと、費用が高いとの問題点の指摘があった。

(5) その他

- ① 入学時の競争率について確認したが、競争率はそれほど厳しくないとのことであった。
- ② 卒業生の就職状況は約 7 割が自営業を含めて仕事に就ける状況とのことである。
- ③ 本年度予算：約 180 百万 U. shs, 生徒からの授業料で全て運営しており、外部からの資金的支援は受けていない。

Mengo Technical Institute

(1) 学校のレベル：

種類	公立	私立	職業訓練校(前期)	職業訓練校(後期)	技術短大	大学
レベル		✓	✓			

(2) コースと生徒数・入学資格

各コース別生徒数は次の通りである。

No.	コース	生徒数	期間	入学資格
1	Motor Vehicle Mechanics	30	2 年間	S4 卒業生
2	Electricity Installation	25		
3	Building	20		
4	Electronics	18		
5	Computer	50		
	合計	143		

(注) 生徒数は夜間コースを含めた総数。

①カリキュラム

訓練は1学期：1月－3月、2学期：4月－7月、3学期：9月－12月の3学期制。

授業時間： 昼間コース：8:30－13:30、夜間コース：17:00－20:00

理論と実習の割合は70%が理論、30%が実習訓練とのことであった。

② 教材、指導要領等

講義を見学したが、教材を持っている生徒はおらず、他の学校と同様に教員の黒板による説明を生徒はノートを取る方式である。

(3) 指導員数と資格

指導員の資格は次の通りである。

	資格	人数
1	Technical Certificate (Craftsman 1)	
2	Advanced Technical Certificate (Craftsman 2)	5
3	Certificate by DIT (Trade Test)	
4	Master Craftsman Certificate	
5	Diploma	10
6	Higher Diploma	8
7	Degree	
8	Master	
	合計	23

指導員の向上訓練等は基本的にはないが、UGPRIVIのメンバーであるので、ショートコースの研修参加機会は若干ある。

(4) 施設・機材

施設：キャンパスは周辺住宅地の中にあり、敷地は狭く、800 m²前後と思われる。建屋は2階建て、一部一階がワークショップとして使用されている。教室も狭いが小さな(10 m²)図書館と脇に自習室(20 m²)がある。ワークショップ各コース別にあるが、全てが小さな規模で5名も入れれば一杯の状況である。宿泊設備はないため、全員が通学生である。

機材：小さな施設の中に、基本技能習得に必要な機材は一式そろっている。例えば、自動車のエンジンは1台あり、各種部品も床に転がっている。電気・電子用ワークショップではテレビ、コンピューターなどの実技習得の機材がある。使えるコンピューターは僅か5台で、壊れて使えないコンピューターのほうが多い(床に放置されている)。

(5) その他

- ① 入学の競争率は自動車が倍率2倍位と最も高く、コンピューターは殆ど全員が入学できる。
- ② 卒業生の就職状況卒業生の80%は就職か自営で職業についている。
- ③ 予算:2004/05年度 91 百万 U shs 2005/06年度 104 百万 U shs。

16. ナカワ職業訓練校卒業生ワークショップ訪問記録

ナカワ卒業生の活動状況1

1. 日時: 2006年4月4日(火)午前
2. 場所: インティンダ地区
3. 卒業生: Mr. Sali Isaac 2004年 木工科 Basic Training Course 卒業
木工ワークショップを経営(製作品:家具、建具等)
4. インタビュー結果:
 - ナカワ VTI 木工科に在籍、Uganda Craft Grade One Certificate “Carpentry and Joinery” (Directorate of Industrial Training, Ministry of Education 発行)を取得、同時にナカワ VTI の Basic Entrepreneurship Skill Development Program を修了。
 - 卒業後タンペコインダストリーに就職。その間、資本金の確保と開業準備を行い2005年に企業。
 - 現在は7名の作業員を抱え、うち5名が Junior Craftsman Certificate を有している。従業員への支払いは製作の出来高ベースとしている(例えばドア1枚で200~300千シリング程度)。売上高の全体像は把握していないが月々の純益は2~3mil 程度である。企業組合に属しており、付加価値税は納付している。
 - 現在の問題は運転資金、運搬手段、製作機材である。

以上

ナカワ卒業生の活動状況2

1. 日 時: 2006 年 4 月 4 日(火)午前
2. 場 所: ナカセロマーケット地区
3. 卒業生: Dialking 社 2003 年 電気科 Basic Training Course 卒業
冷蔵庫、冷房設備の修理および中古品の販売

4. インタビュー結果:

- Dialking という名称は日本のダイキン社からヒントを得たもの。ポリテクチャンボゴ (UPK) 卒業生と共同経営をしている。
- 最初は修理技術だけのところから始め、宣伝ステッカーを配布するなど PR に努めた。徐々に引き合いが増えるようになりビジネスを拡大。現在は作業員が45名程度まで成長した。職業資格を有している者は 15 名くらいか。マサカ、ルウェロ、ジンジャ、ムコノにランチを持っており、ナカワ職訓校のクラスメートに任せている。
- このビジネスは、まだ競争相手もそれほど多くなくビジネスは順調である。純益は4mil シリング程度(全店の合計額)。
- 自前の機材だけでは、十分な作業ができないこともあるのでナカワ VTI の機材を貸してもらいたいが現状では許されていない。
- (なぜ一般企業に就職しないかという問いに対し)企業では一部の工程しか携わることができずエンジニアとしておもしろくない。また賃金も不当に低いので起業の道を選んだ。先日ナカワの卒業生の同窓会があった。卒業生の間でもっと情報交換を行い、ビジネスを拡大したいと考えている。

以上

ナカワ卒業生の活動状況3

1. 日時: 2006年4月4日(火)午後
2. 場所:
3. 卒業生: 2002年自動車科 Basic Training Course 卒業→EFIのUpgrading Course
自動車修理

4. インタビュー結果:

- Technical Schoolを卒業後、建築会社に就職。その後、ナカワの Basic Training Courseを卒業し、Upgrading Courseを受講。Trade Test1 および UNEB の Craftmanship の資格を所有。
- 4名で共同経営している。他の3人がすでに事業を始めており、それに加わった。クライアントの紹介等により、4名の従業員を雇っている。職業訓練校で訓練を受けた者ではなく、仕事を通じて訓練を行っている。
- 事業を始めるにあたっては、土地、機材、道具などをそろえるのに50million シリング程度必要。EFIは新しいモデルのため、機材をそろえるのが大変。
- ナカワの同級生の大半は政府機関に就職し、国外に出た者もいる。起業したのは自分自身のみ。ナカワで学んだ内容は、現在の仕事において非常に役立っている。
- 純利益は 200 thousands シリング程度。

以上

ABOUT NEW PROJECT

